



小清水町議会議長  
坂田 秀昭

町民の皆様、新年あけましておめでとございます。平成25年の年頭にあたり、新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃からの町政全般に対する温かいご理解とご協力に對し心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、基幹産業である農業は、蒔き付け時期における降雪及び天候不順により播種作業の遅れが心配されました。その後は回復傾向に向ったものの、収穫時期の長期にわたる天候不順により、収穫作業が思うように進みませんでした。

輝かしい希望に満ちた新春を迎えるにあたり、皆様のご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

私たち議会議員10名は、皆様の負託に応えるため、少数精鋭で日夜努力をしております。本年は任期4年の折り返しの年でもあることから、これまで以上に充実した議会運営をめざし、決意も新たに町政の充実・進展のため努力する所存でございます。

また、本町の基幹病院である小清水赤十字病院との連携により地域医療の確保に努めるとともに救急・消防体制の充実強化を図り、町民の皆様の生命及び財産を守って参ります。

子育て支援につきましては、次世代育成支援行動計画に基づき、引き続き多様な子育て支援の取り組みを

したが、農業者のためゆまぬご努力により、何とか平年並みまで回復したところであり、これもひとえに長年にわたる農業者皆様の土づくりなど、土地改良事業に取り組んでこられた農業者をはじめ、各関係機関のご努力の賜と感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、泊原発の停止による電力不足の対応として取り組んだ夏の節電に始まり、冬期間に入ってから風雪による大停電や今現在取り組まれている冬の節電等、日常生活の電力への依存度の高さと北海道の冬にとつての電力の必需性を思い知らされるとともに、現実的なエネルギー政策の確立へ向けた協議が急務であることを実感させられた一年でありました。

国会では年末の衆議院選挙による国会再編がなされ、今後の政局運営に期待をしておりますが、本町の基幹産業である農業を必ず守るためにも、引き続きT P P交渉参加の行く末を厳しく注視していかねばなりません。

町内においては、昨年4月に新小清水小学校が誕生し、更に本年は児童の皆さんが晴れ晴れと新校舎で新年のスタートを切ることができ、心から嬉しく思うとともに

関係各位のご努力に對し敬意を表すところでございます。

また、中学校の改築につきましては、昨年体育館・武道館の改築が終了し、本年は本校舎改築に着手し、明年度完成の見通しであります。

今後の町政につきましては昨年同様、議会及び議員活動として各種団体との懇談を重ねながら、町民の皆様のご要望を行政に反映できるように努力して参りたいと考えております。

現在、地方を取り巻く環境は、決して楽観視できる状況にはありませんが、行財政改革においても改革と行政サービス向上の両立を目指した「まちづくり」を進めるために、議会としても町民の皆様と課題を共有し、協働して自主・自立への取り組みを一層進めていかなければならぬと考えております。

新年を迎えるにあたり、全議員が町民の皆様のご期待に応えることのできる議会を目指し、決意を新たにしております。

本年も温かいご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとつて幸多き一年となりますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。



小清水町長  
林 直樹

町民の皆様、新年あけましておめでとございます。平成25年の年頭にあたり、新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃からの町政全般に対する温かいご理解とご協力に對し心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、基幹産業である農業は、蒔き付け時期における降雪及び天候不順により播種作業の遅れも見受けられ、さらに収穫時期の長雨による影響が心配されたところですが、農業者のご努力と関係機関、団体のご指導・ご支援によりまして、品質については異常気象の中にあつてその影響を受けたものの、主要作物については平年並みの収量を確保できた聞いております。

今日の農業情勢は、長引く経済不況により生産環境は一層厳しい状況となつておりますが、将来にわたり食料を安定的に供給できる農業を育成していくことは、地域にとつても国にとつても重要な課題であり、私は、T P P交渉に絶対に参加しないよう、引き続き北海道や関係団体と

連携を図って参ります。

小清水町の農業は、恵まれた大地と自然条件を活かし地球にやさしい循環型農業の確立による農畜産物の産地化、差別化をより一層推進し、農業政策の充実を図るとともに、酪農の振興も図って参りたいと考えております。

商工観光の振興につきましては、国内における景気低迷による経済不況が私たちの生活を直撃する状況の中、町の顔でもあります商店街の活性化を図るべく協議を商工会等とも連携を図りながら行い支援していき、とともに、本町の恵まれた自然環境に配慮した農村景観ルートの確立と観光産業の振興を図って参ります。

保健・福祉の充実につきましては、少子長寿社会を迎えて各種施策の再構築が求められる中、各種予防接種も含めた町民の健康づくりに對する支援、そして、本町の高齢者福祉計画、介護保険事業計画等を基本に据えて、高齢者の皆様が安心して暮らしていくことのできるまちづくりの対策を講じて参ります。特に、老朽化した特別養護老人ホーム「愛寿苑」の改築を着実に進めて参ります。

また、本町の基幹病院である小清水赤十字病院との連携により地域医療の確保に努めるとともに救急・消防体制の充実強化を図り、町民の皆様の生命及び財産を守って参ります。

子育て支援につきましては、次世代育成支援行動計画に基づき、引き続き多様な子育て支援の取り組みを

進めて参ります。

教育の充実につきましては、子供の視点から学校教育を考え再編した小清水小学校校舎及び給食センターの建設が昨年完了し、現在、中学校につきましても全面改築に着手しており、教育環境を整えるとともに教育振興に努めて参ります。

また、まちづくりは人づくりから始まるとの観点から、次代を担う町民の研修等の機会と生涯学習の振興に支援し、積極的に人づくりを推進して参ります。

安心して暮らすための生活基盤整備については、地球温暖化防止と環境への負荷が少ないクリーンエネルギーの普及促進を図るため、引き続き住宅用太陽光発電システムの導入支援を行うほか、安全な飲料水の確保を図るべく上下水道の整備や生活・産業道路の整備などを計画的に実施して参ります。

さて、私も2期目の町政を担わさせていただきました。最終の年明けを迎えましたが、これまで町民の皆様そして町議会のご理解をいただきながら、住民サービスの向上と安全・安心なまちづくりに向けた町政の推進をして参りました。

地方行政を取り巻く情勢は、東日本大震災と原発事故により被害を受けた被災地の生活再建や、社会経済の再生が図られるなかで、景気の足取りに緩やかな回復傾向が見られるとはいえ、地域主権の実現に向けた取り組みなど国においては様々な諸課題が山積しております。

地方分権一括法の施行により自己決定・自己責任による真の地方主義が要求されるという大きな変革の中にあります。私は、町民の皆様への負託に応え、安心して働き暮らせる、そして将来を担う子供たちに誇れるまちづくりの実現のためにも国や道からの情報収集を密にし、来る平成25年度の予算編成は骨格予算ではありませんが、適切な対応を図って参りたいと考えております。

今後、教育施設や福祉施設等の整備に大きな投資を行っていかねばなりません。地方行政としては引き続き町財政の健全化を推進するとともに自立した自治体として、限られた財源を有効活用し、「身の丈にあった財政運営」を目指すべく国の動向に注視しながら、より安定した行財政基盤の構築を推進して参ります。そして、事務の効率化と事業の有効性について再点検を行い、真に必要なものを根本から積み上げ「やるべきことはやる」を基本に各種施策を展開して参ります。

町民の皆様方が、将来にわたり安心して暮らせることができる安全・安心な小清水町として、次の世代にしっかりとつた生活基盤を引き継いでいけるよう、町民の皆様のご意見、ご指導をいただき多くの行政課題に挑戦してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年、平成25年が皆様にとりまして健康で幸せな年でありますようお祈り申し上げます、年頭のご挨拶いたします。